

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和元年度
「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」

完工式
2020年11月17日



テープカットおよび銘板のオープニングを行う岩切大使夫妻と青年・スポーツ省クンバンベ次官、
ジャ地元選出国會議員、リロングウェ青年団体チュンガ代表および関係者



スピーチを行う岩切大使（左）と青年・スポーツ省クンバンベ次官（右）



建設された職業技術訓練センターの視察を行い、チュンガ代表から説明を受ける
岩切大使夫妻とクンバンベ次官および関係者



(左) 伝統的な踊りを披露するカウマ地区の若者
(右) 職業技術訓練センター内ホールの様子



(左) 建設された職業技術訓練センター内教室棟
(右) センター入口に建てられたサインボード

2020年11月17日、マラウイ国中部リロングウェ県カウマ地区にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」の完工式が行われました。式典には、青年・スポーツ省クンバンベ次官も列席し、関係者が日本政府の本支援に対して謝辞と祝辞を述べました。

2019年11月、日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じた助成金90,881米ドルをリロングウェ青年団体に贈与し、同団体は、リロングウェ市内カウマ地区にオフィスと実技実習ホール用の1棟、調理コース用キッチンと食堂を含む1棟、授業を行う3教室1棟および男女トイレ6室を備えた青年男女の職業技術訓練センターの建設を行い、センター用の家具と貯水タンクを設置しました。

式典で岩切大使は、若者主導によるリロングウェ青年団体が、助成金の適切な運用を行って初の大きなプロジェクトを期間内に見事に完了させた努力と実行力に賛辞を述べました。本プロジェクトはカウマ地区のみならず地域全体の若者の可能性を育み自立へと前進させるとともに、若い人材は国の発展に貢献することを強調し、本センターが地域全体の多くの若者を貧困から経済的自立へとつなぐ架け橋として貢献することを期待すると述べました。

大使はさらに、若者が業界のニーズを備えた人材になるためには、業界志向に必要なスキルを備えた教科別のインストラクターと施設の適切なマネジメント能力を有する人材配置の必要性を強調し、青年スポーツ省、労働省、その他の関係者に本センターへの支援を要請しました。また、リ

ロングウェ青年団体には、マラウイの若者の育成のために本センターを有効に活用するように呼びかけました。